

1 中期学校経営方針

(1) 学校経営中期取組目標

○子ども一人ひとりのニーズに対応できる、「だれもが」「安心して」「豊かに」過ごせる学校づくりを進めます。

- ・子どもたちが自分自身の成長を実感できる授業づくり、考えを表現することを大切にする授業づくりを通して学力の向上を図ります。
- ・あいさつを大切にし、温かい人間関係を築き、自他を大切にする心を育てます。
- ・自分の生活を見つめ、心身の健康づくりを進んで行おうとする態度を育てます。
- ・保護者、地域、関係機関に向かって学校を開き、「まち」や「人」との豊かなかかわりを大切にしていきます。

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

| 重点取組分野 | | 取組目標 | 具体的取組 |
|--------|------------|---|---|
| 豊かな心 | | 様々な教育活動を通して、自他を大切にし、よりよい人間関係を築いていこうとする態度を育てる。 | ①全学級の道徳授業公開を年1回以上実施するなど道徳科の充実を図り、挨拶の大切さや思いやりの心等、道徳的な判断や心情を育て、実践できるようにする。 ②子どものよさや成長を認め合う機会をつくり、価値づけることで自尊感情を育てる。 |
| 担当 | 道徳部 児指部 | | |

2 児童（生徒）の実態（「豊かな心の育成」にかかわる課題）

本校の児童は、友だちとよく遊び、明るく子どもらしい素直さをもっている。弘明寺を中心に古くから開けた土地で、地域の行事にもよく参加している。いろいろなことに興味をもつが、継続することが難しいところがある。また、自尊感情が低い児童や、言語で正しく自分の思いを伝えることが苦手な児童が多くいて、トラブルの原因になることがあり、言語活動の充実を大切にしていきたい。

3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

指針1 「道徳科の時間」の充実（必須項目） ※道徳教育全体計画・別葉と連動

- ・全学級の道徳科授業公開を年一回以上実施する。
- ・校内研修等の実施・・・道徳的価値について自ら考えるきっかけとなるよう、授業改善につながる研修を行う。

指針2 体験学習の充実

- ・たてわりでの活動を充実させるとともに、学年間での学習の交流など学級集団だけではない異年齢同士のつながりを築くようにする。
- ・宿泊体験学習を充実させる。（豊かな自然や文化にふれる。そこに携わる人々との交流）

指針3 豊かな人権感覚・意識の育成

- ・子どもの社会的スキル横浜プログラムの指導プログラムを実施し、子どもの社会的スキルの育成を図る。
- ・YP アセスメントのカンファレンスを実施し、自尊感情を育てるとともに、だれもが安心して豊かに過ごすことができる学級・学校の風土をつくる。
- ・学校全体であいさつ活動を行い、自ら進んであいさつする姿を認め、学年に応じた取り組みを行い、コミュニケーション能力の向上を図る。